



【ATMでの活用】

ATMでは、操作者にだけ聞こえる音を出すことで、

- ・他者の騒音とならない
- ・操作者にしか聞かせたくないメッセージの再生を可能にします

エスカレーターでの活用

【エスカレーターでの広告表示】

エスカレーターでは
「位置によって異なる音を出す」ことで、
流れのある広告体験を提供することができます

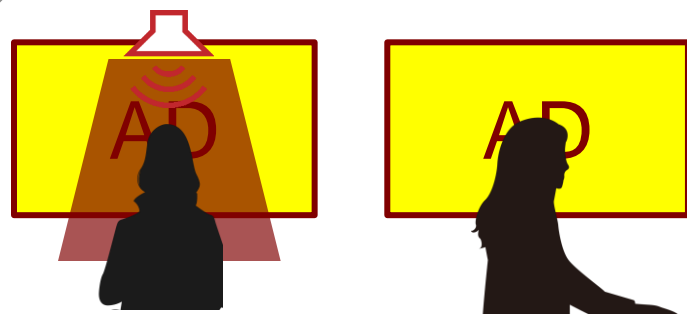
デジタルサイネージで動画配信
や
ポスターで「4コマ漫画」を掲載

起

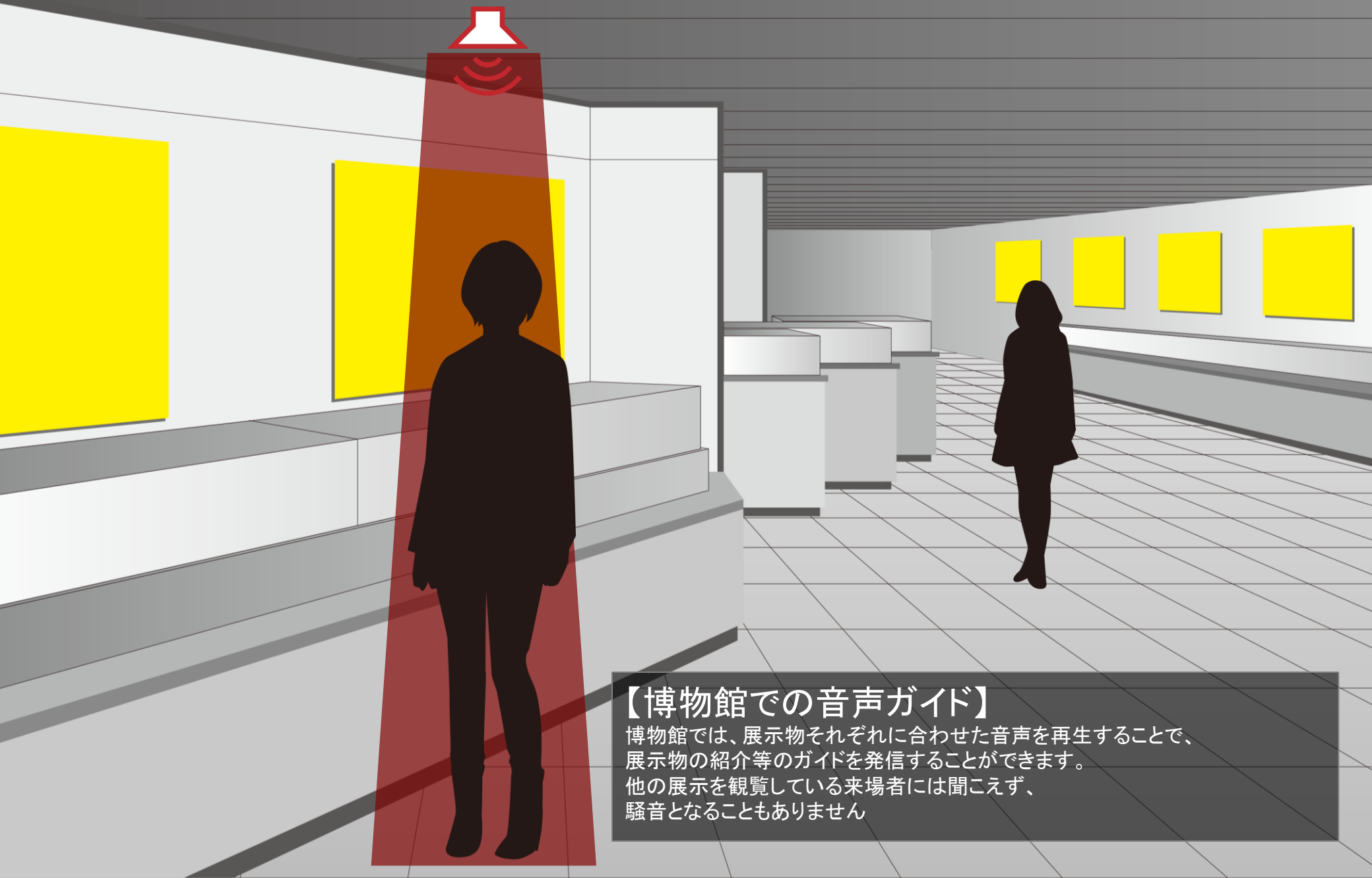
承

転

結



「広告を見ている搭乗者」を感知して音を出すことで、
興味を持ったターゲットにのみ発信することが可能です。
同時に、興味を持たないターゲットにとっては騒音
になることを忌避できます。



【博物館での音声ガイド】

博物館では、展示物それぞれに合わせた音声を再生することで、展示物の紹介等のガイドを発信することができます。他の展示を観覧している来場者には聞こえず、騒音となることもありません